

# Expression of Interferon Alpha/Beta Receptor in the Liver of Chronic Hepatitis C Patients

著者	水腰 英四郎
著者別名	Mizukoshi, Eishiro
journal or publication title	博士学位論文要旨 論文内容の要旨および論文審査 結果の要旨 / 金沢大学大学院医学研究科
volume	平成11年7月
year	1999-07-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/15513">http://hdl.handle.net/2297/15513</a>

学位授与番号	医博乙第1490号
学位授与年月日	平成11年4月21日
氏名	水腰英四郎
学位論文題目	Expression of Interferon Alpha/Beta in the Liver of Chronic Hepatitis C Patients

論文審査委員	主査	教授	村上清史
	副査	教授	中沼安二
		教授	馬淵宏

## 内容の要旨及び審査の結果の要旨

Type I インターフェロン (IFN) は、C型慢性肝炎患者に対して肝細胞からC型肝炎ウイルス (HCV) を排除する目的で投与されている。IFNが標本細胞に対して作用を発現するためには、細胞表面に存在するreceptorに結合することが必要であるが、肝組織におけるreceptorの発現とC型慢性肝炎の病態やIFN治療効果との関係は明らかにされていない。本研究ではヒト肝癌由来培養細胞株とC型慢性肝炎患者の肝組織におけるIFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現を解析し、C型慢性肝炎の病態やIFN治療効果との関連を検討した。

4種類のヒト肝癌由来培養細胞株とヒト肝組織におけるIFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現をNorthern blotで解析した結果、すべての細胞株とヒト肝組織で発現が認められた。C型慢性肝炎患者の肝組織におけるIFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現をcompetitive PCRで解析した結果、全患者において発現が認められた。肝組織中IFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現は、HCV非感染患者に比べてC型慢性肝炎患者で高値であった。また肝硬変患者では慢性肝炎患者に比べて肝組織中IFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現が低値であった。肝組織中IFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現レベルと血清ALT値、血清2-5AS値、血中HCVウイルス量、HCV genotypeとの間には有意な関連を認めなかった。IFN治療を受けたC型慢性肝炎患者において肝組織中IFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現レベルとIFN治療効果との関連を検討した結果、IFN著効例では非著効例に比べ肝組織中IFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現が有意に高値であった。以上の結果からC型慢性肝炎患者の肝組織中IFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現がIFN治療効果に影響を与える宿主側因子の1つであることが示唆された。また肝硬変患者における肝組織中IFN $\alpha/\beta$  receptor mRNAの発現レベルが低いことは、肝線維化が進行した症例におけるIFN治療効果が低い原因の1つである可能性が示唆された。

本研究はC型慢性肝炎患者のIFN治療におけるIFN治療効果規定因子を明らかにしたものであり、より有効なIFN治療方法を考える上で有意義な論文と評価された。